

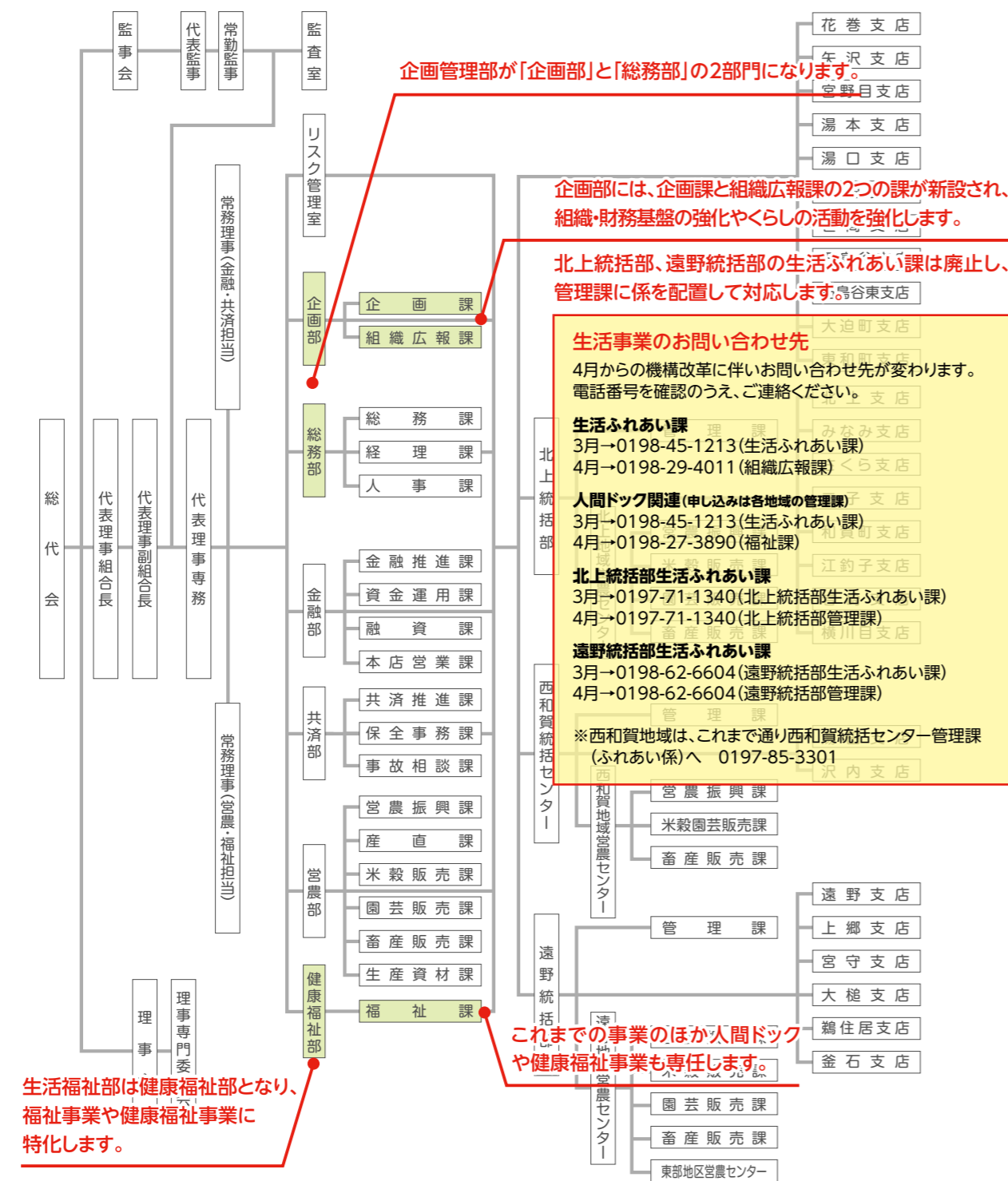
4月から新体制で生まれ変わります もっと寄り添うJAに



「くらしの活動」を
一層強化!

JAは地域の活性化と結びつきを強化するため、機構改革を行います。現在の企画管理部を企画部と総務部の2部門に分け、農家組合や女性部などのJA協力組織がより効果的・効率的に活動を行えるよう、統括部署を企画部組織広報課に一元化します。生活福祉部は健康福祉部となり、健康福祉事業を充実させます。

4月1日からは新体制のもと、第3次中期経営計画最終年の事業目標達成、そして着実に自己改革を実践します。



くらし

地域の活性化、
協同活動の活性化

- ◇くらしの活動の実践
- ◇食育・食農教育
- ◇子育て世代・高齢者支援

1支店1協同活動

ふれあいプラン(支店まつり)のほか、地域特性を生かした独自の企画を全支店が実施。ハンドメイド(和賀町支店)やスキー教室(湯田支店)、三世代交流会(宮野目支店)など、組合員や地域住民が支店に集い、職員も一緒になって交流しました。



地産地消



安全安心な農畜産物や農業の力強さを幅広い方法で発信。料理コンクールの開催(各地域で9月~10月)や、地産地消のレシピ集(2000部)、地産地消料理カレンダー(全組合員へ配付)発行のほか、産直各店舗の企画(料理教室ほか)や各部門の企画(講習会ほか)で地場産料理を取り上げ、食への関心を高めました。



意識共有

広報誌(毎月)や地域コミュニティ紙(年2回)をはじめ、ホームページやフェイスブック(随時更新)などの媒体を活用し、組合員と地域住民にJA事業と農業者の思いを発信しました。



食育・食農

通年のちやぐりんスクール(学年別で年18回の開催。3年生~6年生の児童47人・1年生~2年生の親子23組参加)をはじめ、食育リーダー「花巻まんまーず」による出前授業(幼児から大人まで対象に年19回、のべ560人参加)や、農業体験学習(管内16小学校)などを実施。年代別に食と農の尊さと農業と食の繋がりを伝えました。

子育て世代・次世代・高齢者支援

[子育て世代]子育てフリースペース(月2回、年間233人参加)や子育て世代の料理講習会、地域住民を巻き込んだグループ活動(34グループ設立)などを実施しました。



[次世代]婚活事業(登録者40人)や婚活イベント(3回)、婚活セミナー(1回)を実施しました。



[高齢者]高齢者向け大学(通年5回、30人)や生き生き講座、予防教室などを実施(のべ6700人)したほか、グループホーム設立やデイサービスセンターの建て替えなども行いました。



グリーン・ツーリズム

教育旅行(1071人)、一般受入(139人)を行ったほか、平成30年度は農泊事業にも本格的に取り組めます。

組織経営

結びつき強化、
経営基盤強化

- ◇組合員・地域住民との交流活動
- ◇協同組合の理解醸成
- ◇部門別・場所別損益管理

基盤強化

組合員・地域住民との結びつき強化を図るため、支店を中心とした「くらしの活動」を展開してきました。

平成30年度はここを強化!

- ・組合員新規加入に向けて力を注ぐ(加入パンフレット制作)ほか、組合員と地域住民が交流を図れる場作りを行います(支店企画やJAイベント)。
- ・協同組合について組合員や地域住民、職員が理解し同じ方向を向いて事業を展開します。

経営管理

場所別・部門別実績管理により、損益目標の明確化と定期的な実績検討を展開してきました。

平成30年度はここを強化!

- ・次期中期経営計画の策定に向け、組合員組織代表などの参画のもと組織整備委員会(仮称)を立ち上げます。また、組合員意向調査を実施します。
- ・定期的な実績検討の継続と経営健全性の維持・向上のほか、職場内教育(OJT)を実施します。